

令和 8 年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

	ツアーテーマ	時期
函館編	～4 万年前の火山がくれた二つの恵み～ 函館空港の舞台裏と湯の川温泉の癒しをめぐる旅	10 月

テーマの詳細、メニューリストは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（函館編）

～ 4 万年前の火山がくれた二つの恵み～

函館空港の舞台裏と湯の川温泉の癒しをめぐる旅



予約枠 10月・最大2回（平日のみ）

担当 函館開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげたうえで、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」の“★”印の施設を必ず行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 本ツアーのストーリー

昭和36年に開港した函館空港は、国内外と道南を結ぶゲートウェイとしてだけでなく、海難救助・海上防災など地域の安全を支える重要な役割を担っており、また、海上環境保全を図る役割も果たしています。その空港のすぐ近くに広がるのが、日本一空港から近い温泉街である湯の川温泉であり、古くから「函館の奥座敷」と親しまれ、多くの観光客を魅了しています。

函館空港と湯の川温泉は、ともに約4万年前の銭亀沢火山の噴火によって形づくられた、同じ自然の恵みを分かち合う場所です。函館空港が位置する海岸段丘には当時の火山堆積物が多く残されており、また、銭亀沢火山は湯の川温泉の豊かな湯を生み出し続けている熱源ともいわれています。

本ツアーでは、普段入ることのできない函館空港の施設を見学し、湯の川温泉では遙か昔の火山活動がもたらした湯の恵みに触れることで、函館の魅力をより深く味わう特別な時間を体験することができます。

メニューリスト

◆インフラ施設一覧

① 函館空港（バックヤード） ★

② 第一管区海上保安本部 函館航空基地 ★

◆その他の施設

③ 湯の川温泉 ★

◇連携できそうなメニュー一覧

● 滑走路端 埋蔵文化財調査

● 函館市北方民族資料館

● 市立函館博物館

● 函館市熱帯植物園

○見学可能な施設



出典：国土地理院地図

湯の川温泉



函館空港



第一海上保安本部
函館航空基地

